

## 「学校全体で取り組むポジティブな行動支援

### －徳島県における取組から－

9月8日（土）13:00～15:00、岐阜大学教育学部 B102 教室で開催され、教員や学生、保護者等 74 名が参加しました。

今日、インクルーシブ教育システムの構築に向けて、学校全体で取り組む特別支援教育が求められています。本講座では、海外において障害児の教育制度に位置付けられているポジティブな行動支援について、徳島県での取り組みを、徳島県教育委員会の田中清章先生からご講演をいただきました。

望ましい行動を教え、誉め、伸ばす仕組みについて、演習を交えて解説いただきました。また、こうした取り組みを支える専門家や教育委員会のサポート体制についてもご紹介いただきました。参加者は演習で考え、実践も発表し、積極的な学びの時間となりました。

最後に、岐阜県教育委員会特別支援教育課課長補佐棚橋耕次先生からご助言いただき、学校教育の側が放課後等ディサービスから学ぶこともあり、今後、教育と福祉のさらなる連携・協働が重要になってくることと、附属小学校養護学級の生活単元学習を通して「仲間とかかわる力を育む」ことをめざしたカリキュラムに系統性があること、子どもの実態を把握する観点が明確化されているとのコメントをいただきました。



